

ビジネスアイディアの概要

- ・試合映像は多くのチームで撮影されているが、分析専任者が不足し、レビューが主観的・属人的になりやすい。
- ・本事業では、映像から選手位置・イベント・姿勢などを自動抽出し、既存データと統合して、チーム固有の戦術課題をノーコードで分析できるAI技術の事業化を目指す。
- ・単なる映像整理ではなく、プレーや判断の良し悪し、別の選択をした場合の効果まで数値で示し、現場の意思決定に使える形にする。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- ・映像から現場で使える精度でデータを生成し、異なる形式のデータを安定に統合する必要がある。
- ・また、チームごとに見たい指標や課題が異なるため、PoCごとの個別対応を減らし、導入手順・レポート・価格設計を標準化する必要がある。
- ・技術精度だけでなく、レビュー時間短縮や意思決定改善など、顧客が価値を感じる成果を実証で示すことが事業化の条件となる。

事業化の見通し

- ・初期は競技アマ〜セミプロ/プロチームを対象にPoCを行い、半自動レポート提供を通じて有効性と継続利用意向を検証する。
- ・その上で、UI・分析フロー・価格体系を標準化し、再現性のある提供モデルに整理する。
- ・将来的には、分析人材を持たない学校や地域クラブまで展開し、他競技や周辺領域への横展開を目指す。

事業者情報

藤井 慶輔
名古屋大学大学院情報学研究科
准教授

ビジネスアイディア概要図等

[課題] 映像はあるが ・レビューが属人的 ・分析人材が不足	[技術] 映像から ・位置/イベントを生成 ・チーム固有の課題を発見
[PoC] ・時間短縮を検証 ・意思決定で利用検証	[事業化] ・提供形態/価格の標準化 ・アマ〜セミプロへ展開